



◆当面する重点作業

1. 徒長枝切り、支柱立てを行い、薬剤の到達条件を良くしてから死角が出ないようにタツプリ、丁寧に散布を行い、防除を徹底する。
2. 降雨の日が多く炭疽病・輪紋病・斑点落葉病などの発生が心配される場合は、散布間隔を空けず、降雨の前に実施する。
3. 鳥害・ヤガ対策を行う。
4. スモモヒメシンクイの被害果は放置せず処理する。

◆第10回の薬剤散布について

1. 散布時期：7月23日(火)～28日(日) 散布日 月 日
2. 調合量：水1000当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展着剤	10ml	—	—
フリントフロアブル	33ml	斑点落葉病・褐斑病・すす斑病・	前日
ベルコートフロアブル	66ml	すす点病・輪紋病・炭そ病・黒星病	前日
カネマイトフロアブル	100ml	ハダニ類	7日
㊦バリアード顆粒水和剤	25g	キンモンホソガ・シンクイムシ類	前日

3. 散布量：10a当り ⇒6000以上
4. 散布上の留意事項
 - ①ハダニ類への効果向上と、収穫前品種の果実への農薬の汚れを目立たなくさせるため、展着剤を代えて、「スカッシュ」1,000倍(水1000当り100ml)を使用してもよい。
 - ②収穫直前の品種がある場合は、カネマイトフロアブルに代えて、マイトコーネフロアブル(水1000当り100ml)を使用する。この場合、展着剤は一般展着剤を使用する。
 - ③ナシヒメコン設置園(モモシンクイガ対策)又は、シンクイムシの発生が心配される場合は、㊦バリアード顆粒水和剤を2,000倍(水1000当り50g)に変更し散布する。

◆カルシウム欠乏対策について

ビターピット・ジョナサンスポット、コルクスポット等カルシウム欠乏対策として、必要に応じて、下記内容により、葉面散布肥料を散布する。

1. 対策時期：継続して月に1回程度
2. 使用資材：

資材名	倍率	1000当り使用量
ストピットII	500倍	200g
スイカル	1,000倍	100g
カルビタ	1,000倍	100g
カルタス	500～1,000倍	200～100g

3. 注意事項：基本、カルシウム肥料とリン酸肥料は結合してしまうため混用しない。
ストピットIIは、白くなるので収穫前の使用は控える。

◆シナノリップ収穫出荷会講習会の開催について

開催日	曜	開催時間	開催場所	担当
8月2日	金	午前10:30	篠ノ井西部流通センター	徳武・寺澤
		午後 2:00	真島フルーツセンター	根津
			若穂果実流通センター	松沢

◆園地の除草対策について

1. 早生種の収穫時期が近づいているので、除草剤の使用基準・収穫前規制に注意する。
2. 梅雨の期間中は草に余分な水分を吸わせていたが、梅雨が明けたら草丈を短くして乾燥防止を行う。
ただし土が見えるほど刈り過ぎると、水分の蒸散が多くなるので注意する。
3. 降雨により園内が滑りやすくなっているので注意して作業する。

◆シナノリップ収穫について

果樹試験場での収穫予想は、8月5日頃（満開105日）ですが、バラツキが多いためあくまで参考として下さい。

熟期が揃わず早い時期から熟期を迎える果実があるので、適熟品から3～4回程度に分けて収穫作業を行う。8月1日頃より収穫できるものが出始める。一回りしてこまめに収穫して下さい。特に高接ぎ樹は日陰部分が遅くなり、樹勢が弱いと成熟（着色）が遅れる。

樹齢が増すに従い弱樹勢になりやすい傾向のため、新梢（果台枝）は20～30cm程度伸びるように維持したい。

《栽培に関する営農技術員への問合せ》

徳武（篠ノ井西部）：080-1202-0260／外谷（篠ノ井東部）：080-8048-6602

※篠ノ井西部は、当面、寺澤・松坂・佐藤・外谷も対応致します。

佐藤（信更）：090-7179-9866／伊藤（松代）：080-2239-6816

松橋（川中島）：090-4816-6297／根津（更北）080-1203-8576

松澤（若穂）080-1191-5166／寺澤（全域・情報担当・編集）：080-1188-5229

吉澤（全域・情報監修）：090-2543-0365

栽培に関する電話対応は、担当地区関係なく対応できます。園地指導や地区組織関係のお問い合わせは、地区担当までお願い致します。

○果樹のアドバイザー（流通センター長兼務）松坂（篠ノ井西部）080-1188-4131

《栽培・販売に関する問合せ》各流通センター・共選所／営農販売部（本所）：292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部農業資材課：299-3311